

空き家対策について

上久堅地区まちづくり委員会

1、経過

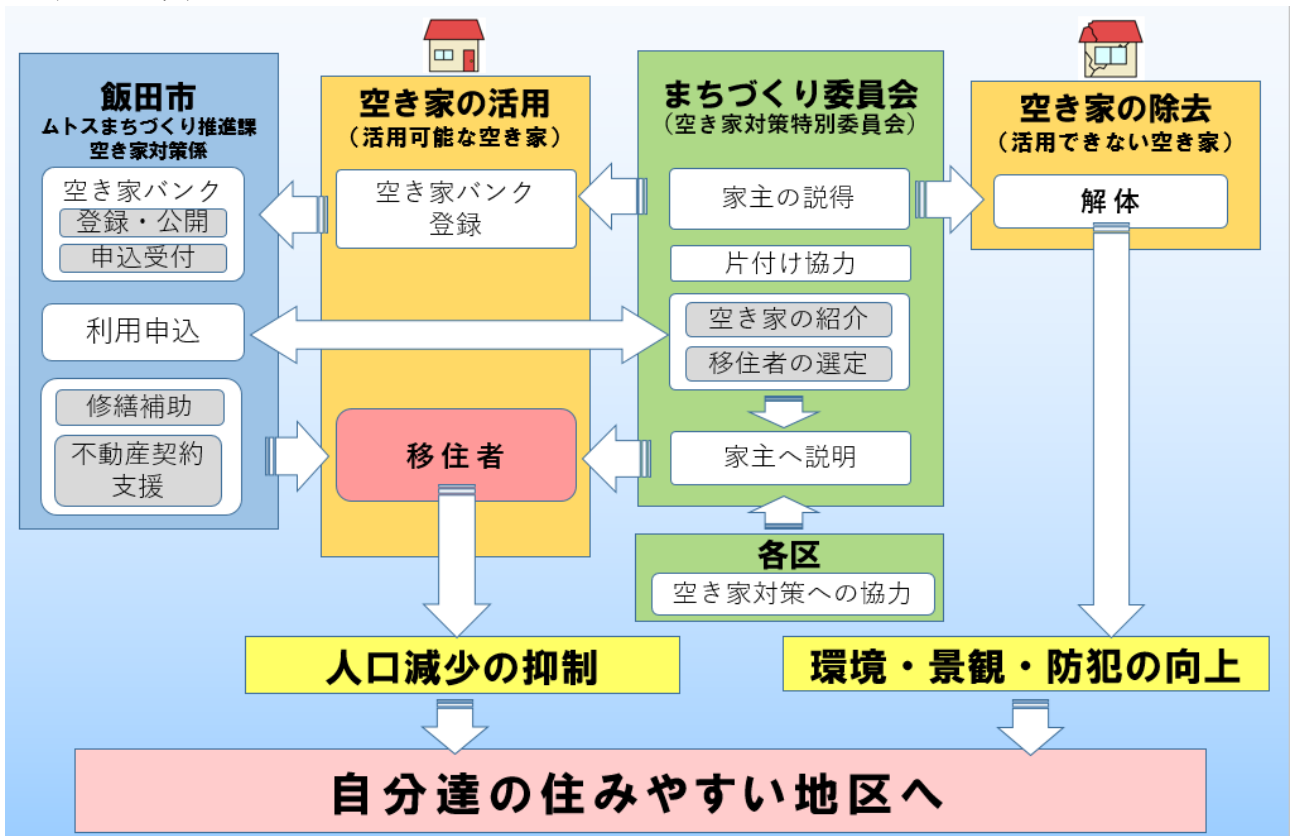
人口減少と共に地区が消滅する危機が迫っています。これは決して大げさな表現ではありません。人口推計(名古屋大学/小地域ごとの簡易人口推計ツール)によれば、今から約40年後の2060年には、人口が400人を割る予測が出ています。人口減少は全国的にそうですが、このまま何も手を打たなければ自然と消滅をしていく地区になってしまいます。

ではどうしていけばよいのか・・・1年間に3世帯を上久堅地区に入れていく事が出来れば、人口減少の抑制がされ倍程度まで人口減少が抑制される試算となります。人口減少は地域活力の低下、空き家や遊休農地の増加など影響が非常に大きく、地区をあげて取り組んでいかなければならない課題です。

しかし移住者を呼び込むには、住む場所を確保することが最初の問題となります。そこで空き家を利用して住んでいただくことが出来れば、空き家は減り、人は増えるといった好循環が生まれます。また、空き家はそのまま放置しておく、5年程度で手を入れなくてはならない状況になると言われています。空き家をそのままにされることは、地区に住んでいる方にとって、環境、景観、防犯等様々な面で邪魔でしかなくなってしまうのです。

ゆえに空き家を活用するにしても、活用しないにしても空き家対策が必要になってきます。基本構想・基本計画に掲げた空き家対策に力を入れて参ります。

2、対策の具体的なイメージ



3、今後に向けて

現在は、移住者がまだまだいる状況です。現に今も住宅を求めている方がいらっしゃいます。

まちづくり委員会では、上記に記載された特別委員会を来年度から始める予定としています。失敗したとしても、まずは始めることが大切です。特別委員会には区長、副区長と地区の方にも参加いただき地区を上げて取り組んでいただく仕組みを検討しています。

本日お越しの皆さんのお力添えも必要だと思いますので、是非一緒に取り組んでいただくようお願い致します。